

丹後農業実践型学舎研修情報（12月）

- ダイコン、聖護院カブ、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリー、ニンジン収穫・調整し、加工業務用での出荷や直売所販売を実習した。
- 「土壌肥料」「マーケティング論」「法人会計・パソコン農業簿記講座」「農産加工開発実践研修」を受講した。
- 近畿農政局との意見交換会、農業次世代人材投資資金（経営開始型）説明会、京都若手農林漁業者大交流会 2018 に参加した。



ダイコン 調整・出荷



キャベツ 収穫



座学：土壌肥料



法人会計・パソコン農業簿記講座



農産加工開発実践研修



京都若手農林漁業者大交流会 2018

研修を通じての学舎生の所感（抜粋）

収穫作業がしたいところですが、講義と重なり思うように作業が進まなかった。

来週から加工用の野菜の収穫を急ピッチで進めなければならないので頑張ろうと思う。

加工キャベツとダイコンの出荷が本格的になってきたので頑張って出荷していきたい。

加工野菜は、出荷にあまり時間をかけなくてもいいというメリットを改めて実感した。ダイコンがまだまだあるのでがんばりたいと思う。

加工野菜の収穫から出荷までの工程に慣れ、来年以降の各自での研修に自身がついてきたように感じた。自分の営農スタイルが加工野菜中心の計画なので頑張っていきたい。

農業簿記はパソコンで作成するのがいいと思った。今回研修した「ソリマチ」は非常にわかりやすくいいと思った。

京都若手農林漁業者大交流会に参加して、いろいろな業種の人と交流ができ、少しでも情報が交換ができた。

大交流会では、野菜農家だけではなく、普段の研修では関わりの薄い酪農や林業、漁業の分野の若い担い手の方々と交流することができ、とても良い刺激となった。

大交流会では、いろいろな考えの人がいて参考になった。今後は、流通、小売り、輸出関連事業者との交流会があればいいと思った。